

ワイレガラ・全米日米協会連合会(NAJAS)理事長と懇談 —日米関係強化に資する草の根運動の重要性—

2023年10月18日

講師：アンドリュー・ワイレガラ

全米日米協会連合会 理事長



経済広報センターは、10月18日、東京・大手町の経団連会館で、全米日米協会連合会(NAJAS)のアンドリュー・ワイレガラ理事長との懇談会を開催した。企業の広報担当者ら約20人が参加した。

NAJASは全米38カ所の日米協会(約2000社の企業会員、約1万1000人の個人会員が所属)を束ねる組織であり、日米関係強化を目的にさまざまなプログラムを実施している。

そうしたなかで、ワイレガラ理事長は、日米関係について、現下は良好である半面、関係悪化への危機感が薄く、結果としてその強化に資する草の根運動が停滞してしまうというジレンマに陥っていると指摘。同時に米国では若年層を中心に、アニメ、ゲームや日本食といった日本のソフトパワーに対する関心が極めて高いにもかかわらず、日米の留学生交流が減少の一途をたどっていることから、インターシッピングの活用や留学生への支援を拡充するなど、若年層レベルでの日米交流を充実させるべきと述べた。

その後の質疑応答では、参加者から、日本のスタートアップ企業が米国におけるビジネスを強化するうえでNAJASのプログラムを活用できるか否かについて、質問があった。これに対しワイレガラ氏は、NAJASは営利団体ではないため、直接的に関与することは難しいが、カリフォルニアやシカゴといったスタートアップが盛んな地域の日米協会とも協議のうえ、何らかのサポートを検討することはできると回答した。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。